

令和4年度 事業報告

1 法人の現況

(1) 事業の経過

法人の令和4年度の業績は、新型コロナウイルス感染症対策を継続する中「今、出来ること」を最優先に考え行いました。

日本の人口は、12年連続で減少していますが次の表の様に事業環境は維持されています。

法人が主たる運営地域とする足立区北西部、特に西新井・栗原地区の人口

(単位:人)

人口動向	令和3年4月1日現在		令和4年4月1日現在 (A)		令和5年4月1日現在 (B)		増加数 (B-A)	
	足立区	西新井・栗原地区	足立区	西新井・栗原地区	足立区	西新井・栗原地区	足立区	西新井・栗原地区
人口	691,190	34,300	689,106	34,124	691,372	34,190	2,266	66
高齢者	171,485	8,329	171,178	8,315	169,618	8,271	-1,560	-44

通所介護事業の利用者数は、感染症の状況により予測が難しい状況でしたが前年度よりは影響は小さく「事業活動・施設設備等に係る収入」は3億744万円となりました。

(内、新型コロナ関連補助金 約121万円、介護職員処遇改善支援補助金 約117万円)

他方、「事業活動・施設設備等に係る支出」は、職員雇用維持・離職防止の対応などの人件費増加により、2億9217万円となりました。

また、浴室や駐車場整備費用が約142万円掛かりました。

これにより、本年度の資金収支差額は1527万円となり、事業活動収支計算書における当期活動増減差額は1344万円、次期繰越活動増減差額は2億895万円となりました。

(単位:万円)

収支	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	28,259	28,981	30,744	1,763
施設設備等収入	0	0	0	0
事業活動支出	28,587	29,145	29,093	-52
施設設備等支出	137	171	123	-48
資金収支差額	-464	-335	1,527	1,862
当期活動増減差額	-1,149	84	1,344	1,260

利用者、施設来所者、職員の安全には十分に配慮していますが、本年度も通所介護サービスにおいて転倒、利用者同士の接触事故などが起き、無断外出2件・送迎中の事故1件(程度問わず)については、所管行政機関への要報告が発生しました。

地域包括支援センターでは、書類の提出忘れが発生しました。

居宅介護支援事業所では、自転車移動中の接触事故などが起きました。

(単位:人)

事故発生数	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
発生数	25	45	34	-11
(うち転倒事故)	8	15	14	-1
(うち行政機関報告件数)	1	3	3	0

各職員は、健康管理(健康診断・ストレスチェック・各予防接種等)を適切に行い感染対策や労災事故対策をしています。本年度の労災事故は発生しませんでした。

(単位:人)				
労災事故発生数	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
発生数	3	3	0	-3

《拠点区分別・サービス区分別の状況》

拠点区分別・サービス区分別の状況は、次のとおりです。

なお、[地域予防]・[居宅介護支援]を除くサービス区分の事業は、足立区からの委託事業です。

＜法人本部拠点＞

サービス区分：[法人本部]

(単位:万円)				
収支	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	2	1	0	-1
事業活動支出	455	365	337	-28
(うち人件費支出)	434	348	322	-26
資金収支差額	0	0	0	0

事業活動収入は、預金利息収入です。(上記の表記は、1万円未満のため0円としています)

事業活動支出は、通所介護・認知症対応型通所介護・地域包括支援センター・居宅介護支援の四つのサービス区分からの繰入金収入で賄いました。

(理事会・評議員会等の執行状況)

令和4年度は、理事会を3回(定時3回)評議員会を1回開催しました。

議事の審議は、法令及び定款に従い適正に行われました。

令和5年3月31日現在の理事定員は6名以上7名以内、監事定員は2名、評議員定員は7名以上8名以内です。同日現在の現員は、理事6名、監事2名、評議員8名で、欠員は生じていません。

＜在宅サービスセンター西新井拠点＞

サービス区分：[通所介護]・[認知症対応型通所介護]

[通所介護]

(単位:万円)				
収支	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	13,410	13,903	15,338	1,435
事業活動支出	13,928	14,384	14,414	30
(うち人件費支出)	11,091	11,413	11,066	-347
資金収支差額	-797	-771	627	1,398

(単位:人)				
利用者数	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
利用者数	13,275	13,877	14,690	813
(うち予防等利用者数*)	1,485	1,282	1,372	90
対定員稼働率	79%	83%	88%	5%

*介護予防通所介護事業及び介護予防・日常生活総合支援事業(第1号通所事業)の合算利用者数

通所介護サービス利用者数：期初計画 14,605人

[認知症対応型通所介護]

(単位:万円)

収支	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	4,430	4,694	4,885	191
事業活動支出	4,220	4,327	4,456	129
(うち人件費支出)	3,486	3,567	3,648	81
資金収支差額	77	224	351	127

(単位:人)

利用者数	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
利用者数	2,621	2,835	2,880	45
対定員稼働率	70%	76%	77%	1%

認知症対応型通所介護サービス利用者数：期初計画 3,009人

新型コロナウイルス感染状況では、8月中旬・12月下旬に足立区基準でクラスター施設として足立区ホームページに掲載されました。8月中旬以降は利用控えが若干発生しましたが9月には利用状況も回復し利用率は昨年度を上回る結果となり、通所介護においては目標の対定員稼働率87%を達成することが出来ました。

ボランティア活動状況

(単位:延人数)

活動内容	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
日常活動ボランティア	604	756	1,084	328
講師 ボランティア	69	75	50	-25
演芸 ボランティア	0	0	36	36
行事 ボランティア	105	81	80	-1
理髪 ボランティア	71	60	60	0
その他 ボランティア	38	66	75	9
合計	887	1,038	1,385	347

新型コロナウイルス感染症の感染者が急増した8～9月は対人・講師ボランティアのみ受け入れを中止しました。日常ボランティアは、適切な感染症防止対策を行ったうえで受け入れを継続した結果、前年度実績を上回る年間延べ1,300名以上の支援・協力を受けました。

(本年度主重点施策の結果)

(ア) 地域同業者のトップを走る高質なサービスの提供

① 自立支援・重度化防止の取組の推進

- ・LIFE (科学的介護情報システム) へのデータ提供を継続。フィードバックされる情報から重度化は防止できていることが読み取れる
- ・個別機能訓練では『御朱印巡り』の利用者が多く、下肢筋力の維持・向上に繋がっている

② 感染症や災害への対応力強化

- ・感染症対策委員会で「東京都集中検査」の実施を決定し、9月より週2回の検査を継続。この検査にて陽性判明した職員もおり、クラスター発生予防になりました。
- ・消防署職員立ち合いの元、他部門と合同で避難訓練を実施。通所部門単独としては隔月で地震・災害・火災などを想定した避難訓練なども実施

③ 高齢者虐待防止の推進

利用者の人権擁護・虐待防止のための委員会を開催し、指針の整備や研修を実施

④ 第三者評価の毎年度受審と高評価の継続

福祉サービス第三者評価の受審結果は、「大変満足」29%「満足」65%と併せて94%の方から満足感があると回答

(イ) 高質なスタッフの確保・育成

- ・資格を保持していない職員2名が認知症基礎研修を受講し修了
- ・資格取得支援制度を利用し介護福祉士実務者研修を1名、介護職員初任者研修を2名が受講し修了
- ・介護福祉士国家試験を2名が受験し合格

(ウ) 安定した事業運営の保持

- ・足立区福祉施設指定管理者等評価委員会における指定管理者業務評価において高評価を獲得

サービス区分：[地域予防]

(単位:万円)

収支	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	1	1	0	-1
事業活動支出	62	37	21	-16
(うち人件費支出)	58	33	21	-12
資金収支差額	-61	2	3	1

足立区一般介護予防事業の「はじめてのフル予防教室」修了者等が自主活動グループを発足・活動にあたり助言などの支援を行いました。現在、3グループが「町の美化活動」などで活動中です。

利用料無料の事業に付き、所要経費全額を[通所介護]からの繰入金収入で対応しました。

<地域支援西新井拠点>

サービス区分：[地域包括支援センター]

(単位:万円)

収支	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	6,027	6,055	5,967	-88
事業活動支出	5,829	5,844	5,740	-104
(うち人件費支出)	5,026	4,943	5,187	244
資金収支差額	55	114	170	56

新型コロナの影響により「足立区独自の緊急事態宣言」があり7/15~9/8の期間事業の一部が中止や延期になりました。

(相談件数の状況)

本年度の相談件数は、5500件を超え、月次平均500件程度(1日平均2件)となり相談内容は、「介護保険制度」に関わる相談が最も多くなりました。

(単位:件)

相談者区分別相談件数	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
本人	1,893	2,509	2,198	-311
家族・親戚	1,034	1,226	1,204	-22

ケアマネジャー	713	1,317	1,122	-195
近隣住民・知人	61	82	115	33
公的機関等	433	422	401	-21
その他とも計	4,529	6,061	5,519	-542

(介護予防プラン)

介護予防プラン作成は、基本的に居宅介護支援事業所へ委託しております。

(単位:件)

介護予防プラン作成件数	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
直接担当分	33	22	6	-16
他事業所委託分	3,268	3,403	3,483	80
計	3,301	3,425	3,489	64

(委託事業実績)

足立区との委託契約内容に沿って実施しています。実態把握訪問の目標件数は、未達でしたがその他の委託内容は概ね目標を達しています。

(ア) 総合相談支援事業

- ①出張相談窓口をUR都市機構の集会室・各銀行・ドラッグストアなどで年13回開催
- ②実態把握訪問は、1551/3807件実施で目標値未達

(イ) 寄り添い支援事業

- ①絆のあんしんネットワーク連絡会は年4回実施、町会やあんしん協力員・協力機関等延べ65名参加、絆のあんしん協力員と協力機関で新規登録20件有り
- ②笑和カフェ

4月から12月までは午前中のみ実施、8月は中止、1月より午後の部も再開

③介護の悩みを話そう会

月に1回の開催、数名の参加が有りますが参加者数の少なさが課題

④認知症声掛け訓練

西新井第一小学校4年生を対象に「認知症サポート養成講座」と「声掛け訓練」を実施

⑤地域ケア会議

「孤立を防ぎ、みんなでやる安心できる地域づくり」をテーマに、帝京科学大学の先生を招き会議を実施、町会役員会に先生が引き続き参加し問題を議論継続中

(ウ) 地域支援事業の推進

①介護予防事業

- ・介護予防教室の修了者を中心に、2つの自主活動グループ発足を支援、町の美化活動などを実施 (1グループは、男性のみで構成)、その他2グループも発足支援中
- ・西部ブロック6ハウカツ合同で「多世代交流祭り」を実施、参加者300名超

②井戸端介護

- ・近隣の喫茶店「喫茶はんなり」で行われている「おしゃべりカフェ」より依頼を受け「エンディングノートの書き方」の講義を開催、合わせて西新井消防署による防災講義実施

③周辺機関との連携

近隣介護施設や各銀行・スーパー・ドラッグストア・町会・小学校等と個別に地域の連携について協議実施中

サービス区分：[居宅介護支援]

(単位:万円)

収支	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	3,165	3,100	3,320	220
事業活動支出	2,912	3,000	2,905	-95
(うち人件費支出)	2,636	2,767	2,690	-77
資金収支差額	145	52	360	308

ケアプラン作成取扱件数は、前年度より増加することができました。

業務拡大に伴う職員の増員計画が後期になり達成され、4名体制から5名体制へ増加したことが要因となりました。

(単位:万円・件)

ケアプラン作成件数		令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
介護給付 プラン作成	介護保険収入	2,876	2,886	3,087	201
	作成件数	1,607	1,570	1,650	80
	1件平均収入(円)	17,910	18,379	18,711	332
予防給付 プラン作成	介護保険収入	176	161	149	-12
	作成件数	393	347	313	-34
	1件平均収入(円)	4,492	4,647	4,759	112
計	介護保険収入	3,052	3,045	3,236	191
	作成件数	2,000	1,917	1,963	46

介護給付プラン作成件数は、既存顧客の作成継続に加え、新たな顧客からの依頼獲得もありましたが、コロナ禍での転居・入所が多くなり、高齢化でのご逝去も増加しました。

予防給付プラン作成件数は、介護保険更新時の継続に加え、新たな依頼もありましたが利用控えもあり、前年度を下回る結果となりました。

(単位:万円・件)

介護認定調査件数		令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
	調査件数	79	48	82	34
	収入	34	21	36	15

介護認定調査は、「新型コロナウイルス感染症に係る臨時的な取扱い（認定期間の延長）」の影響により調査依頼件数が前期は減少し、後期は感染が緩やかになってきたこともあり急激に依頼が増え、前年度より大幅に増加となりました。

介護保険収入にも大きな影響を与える、特定事業所（介護保険収入）加算対象事業所の要件を維持することができました。

さらに最上位クラスの特定事業所加算対象事業所を目指し、職員の質の向上を目標として来年度（6月）より開始予定です。

毎年度受審している「福祉サービス第三者評価」は、引き続き高位評価を継続しました。

サービス区分：[会食サービス]

(単位:万円)

収支	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	569	582	584	2
事業活動支出	554	559	562	3
(うち人件費支出)	272	260	255	-5
資金収支差額	15	23	21	-2

(単位:人)

利用者数	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
利用者数	915	1,271	1,293	22

新型コロナウイルス感染症が拡大していた8月はお休みとしましたが、それ以外は感染対策を行ないながら事業を継続しました。体操付き会食サービスを利用している方々からの感染を不安視する声は少なく、参加意欲が高いこともあり、前年度より多く利用していただきました。

事業活動収入には、足立区指定管理者契約に基づく委託料収入が、また、事業活動支出には同契約に係る施設建物設備の更新・小規模修理費用が含まれています。

サービス区分：[地域交流スペース(集会室)貸出サービス]

(単位:万円)

収支	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	487	476	476	0
事業活動支出	501	486	530	44
(うち人件費支出)	180	181	197	16
資金収支差額	-14	-10	-54	-44

(単位:回)

貸出回数	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
貸出回数	113	160	222	62

新型コロナウイルス感染症が拡大していた8月はお休みとしましたが、それ以外は貸出受付は継続しました。感染者の減少に伴い貸出数が徐々に増加傾向となり、前年度よりも貸出数は多くなりました。

事業活動収入には、足立区指定管理者契約に基づく委託料収入が、また、事業活動支出には同契約に係る施設建物設備の更新・小規模修理費用が含まれています。

サービス区分：[高齢者筋力トレーニング]

(単位:万円)

収支	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	168	168	171	3
事業活動支出	122	140	124	-16
(うち人件費支出)	110	123	102	-21
資金収支差額	45	28	46	18

(単位:回)

参加者数	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
実施ケル数	2	2	2	0
参加者数	32	29	32	3

*1ケル3か月・12回実施 1ケルの定員：16名

一般介護予防事業である「はじめてのフレイル予防教室」は足立区より2ケルを受託し事故・苦情とも無く実施しました。

前期の教室は、足立区独自の緊急事態宣言と同様の通知があり途中で中止しています。
後期は、中止することなく実施できました。

*1クール3か月・12回実施 1クルールの定員：16名

(2) 施設設備等の状況

(単位:万円)

	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
器具・備品取得支出	46	88	40	-48
車輛運搬具取得支出	0	0	0	0
その他とも固定資産取得支出計	46	88	40	-48

ア. 固定資産の取得は、通所介護事業におけるリカレントサイクル（40万円）でした。

イ. 浴室スペースの個浴用ユニットバス撤去改修工事（84万円）、駐車場段差解消工事（58万円）
中央ホールLED照明設備交換（足立区費用負担）を実施しました。

ウ. 不動産・設備の原則不所有方針は、引き続き堅持していきます。

(3) 資金調達の状況

法人の運転資金及び高額設備投資等の資金は、法人創業以来、自己資金により賅っています。

(4) 従業員の状況

(単位:人)

	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B-A)
正職員	30	29	30	1
契約職員	45	46	46	0
計	75	75	76	1

(5) 現在の高齢者を取り巻く様々な課題や世代間を超えた問題、介護保険制度の行く末などに
対処し、「地域の社会的課題」に向き合い、事業を進めていくことが求められます。

(ア) 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルスの完全終息あるいは安全レベルの確認までは、安全を最優先に
感染症対策を継続します。

(イ) 職員の維持・確保

少子高齢化・人材不足などの中、既存職員の雇用を維持するため政策や給与・待遇を
維持・増加し職業意欲向上に努めます。

(ウ) 質の向上

Web研修・実地研修を組み合わせ、多くの研修を受講できる体制を強化、各資格取得を
支援し職員のレベル向上を目指します。

(エ) 災害への対応

大地震・大洪水・感染症などの天災のみならず、様々な事案を想定した 対策の重要性も
踏まえ、事業継続計画 (BCP: Business Continuity Plan) の点検・見直しを続けます。

また、職員一人一人が事業継続計画を十分理解し、緊急時の行動を身に付けるため
具体的な訓練と教育を実行していきます。

2. 役員等に関する事項

(1)

氏名	備考
石鍋 よね子	
金田 進司	
笹森 幸子	
田口 律子	
辻本 千鶴恵	
中崎 幸子	
茂崎 俊雄	
安井 明美	

任期：令和3年6月14日から就任後4年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(2)

地位	氏名	備考
理事長	細井 和男	社会福祉法人西新井だいわ会施設長
理事	新井 五輪子	社会福祉法人邦栄会理事長
理事	大熊 邦子	
理事	軽部 まち子	
理事	佐野 洋介	社会福祉法人西新井だいわ会居宅部長
理事	鈴木 肇	社会福祉法人西新井だいわ会総務部長
監事	乗田 一正	税理士法人日本会計グループ 税理士
監事	永井 章子	元足立区職員 行政書士

任期：令和3年6月14日から就任後2年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(3)

区分	員数(名)	報酬等の総額(万円)
評議員	8	7
理事	6	9
監事	2	11

上記理事には、従業員を兼務する理事3名の従業員報酬等は含まれていません。
上記報酬等の総額には、実費支給の交通費は含まれていません。

以上